

パティシエ・ベーカリー学科 [2年制/男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

パティシエ・ベーカリー学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 製菓・製パンに関心があり、技術を身につける意欲がある人
- 2 協調性や自主性があり学び続ける意欲がある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

パティシエ・ベーカリー学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 製菓衛生師免許取得の為、専門的な知識と技術を習得するカリキュラムを構成する
- 2 製菓実習では基礎から学び、業界に即応できる実践能力を身につけ多様な実習により更に技術を磨く
- 3 日々の講義や実習で学習の習慣を身につけ成長を実感し、製菓・製パン業界で働く意識を高める

DP

目指す人材像
ディプロマポリシー

パティシエ・ベーカリー学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる製菓・製パンの知識や技術を身につけている
- 2 食品に関する衛生の知識を習得し、安全な食品を提供する責任を理解し実践能力を身につけている
- 3 コミュニケーション能力を身につけ、人と接する中で素直に意見を聞き常にサービス業の精神で人と接する柔軟な能力を身につけている
- 4 多様化するニーズに対応するため自主的に探究する考えを身につけている

目指す資格

- 製菓衛生師 [国家資格]
- 菓子製造技能士 (2級) [国家資格]
- パン製造技能士 (2級) [国家資格]
- ジュニアバリスタ
- ジュニアショコラティエ

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	製菓・製パンに関する基本的な知識や安全でおいしい商品を作る技術を習得し、国家試験 (製菓衛生師) の合格を目指す。		商品製造のスキルを向上させるとともに、製造・陳列・販売まで店舗営業の流れを習得する。菓子製造技能士2級の技術習得を目指す。	
カリキュラム	<p>講義 食品学</p> <p>講義 栄養学</p> <p>講義 演習 食品衛生学</p> <p>講義 公衆衛生学</p> <p>講義 社会</p>	<p>講義 衛生法規</p> <p>講義 食品学</p> <p>講義 栄養学</p> <p>講義 演習 食品衛生学</p> <p>講義 公衆衛生学</p>	<p>演習 コンピュータ実習</p> <p>講義 接客マナー</p> <p>講義 フードマネジメント</p> <p>演習 製菓・製パン教養</p> <p>演習 菓子技術</p> <p>演習 ベーカリー実習</p> <p>演習 バリスタ実習</p> <p>演習 洋菓子実習Ⅰ</p> <p>演習 洋菓子実習Ⅱ</p> <p>演習 和菓子実習</p> <p>演習 ショコラティエ実習</p> <p>演習 卒業研究・製作Ⅰ</p> <p>講義 食と色彩</p>	<p>演習 ベーカリー実習</p> <p>演習 カフェ・店舗実習</p> <p>演習 洋菓子実習Ⅲ</p> <p>演習 卒業研究・製作Ⅱ</p>
	<p>講義 製菓理論</p> <p>演習 製菓実習</p>	<p>講義 製菓理論</p> <p>演習 製菓実習</p>		
スケジュール	4月 ●入学前学習 ●入学式 ●オリエンテーション	10月 ●ジャパンケーキショー東京見学 (希望者)	4月	10月 ●ジャパンケーキショー東京出品・見学 (※希望者)
	5月 ●産学連携講習会	11月 ●校内デコレーションコンテスト	5月 ●就職研修	11月 ●産学連携講習会
	6月 ●中四国ブロックケーキコンテスト見学 ●食文化研修	12月 ●インターンシップマナー研修 ●冬休み	6月 ●中四国ブロックケーキコンテスト出品 ●食文化研修	12月 ●冬休み
	7月 ●穴吹祭	1月	7月 ●穴吹祭	1月
	8月 ●夏休み	2月 ●フランス研修・留学 (希望者) ●卒業研究制作展 ●インターンシップ開始 ●春休み	8月 ●夏休み	2月 ●フランス研修 (希望者) ●卒業制作展 (作品展示・カフェ運営)
	9月 ●スポーツ大会	3月 ●国家試験対策授業開始	9月 ●パテたま (菓子・パン販売実習) 開始~1月まで ●秋カフェ運営 ●スポーツ大会	3月 ●卒業式

主な科目内容	
洋菓子実習Ⅰ・Ⅲ	洋菓子を製造することで、応用の技術・工程を理解し、安全でおいしい商品を製造できる実践力を身につける。
卒業研究・製作Ⅰ・Ⅱ	1年次で身につけた基礎を応用し、工芸菓子作品作りに取り組む。チョコ、飴、シュガー、マジパン、バタークリーム、パン、和菓子素材などを扱い工芸菓子・パンを製作する。
菓子技術	洋菓子を実際に製造することで、その技術・工程を理解する。菓子製造技能士2級の実技試験対策をする。スポンジ焼成ナッペ、被膜、絞り、パイピングの技術演習をする。
ショコラティエ実習	チョコレートの製造や技術、特性を理解することにより、チョコレートの知識や製造技術の習得をする。
洋菓子実習Ⅱ	フランス菓子やピエスモンテなど、様々な基礎から応用まで実践し習得する。また、フランスの菓子文化を理解し感性を磨く。(留学希望者)
和菓子実習	和菓子を製造することで、風情や季節に応じた菓子作りの技術・工程を理解し、安全でおいしい商品を製造できる実践力を身につける。
カフェ・店舗実習	材料の仕入れから販売まで店舗の実務を経験し、「品質管理技術」の習得を目指す。また、カフェの実務を経験し、接客マナーを身につける。
ベーカリー実習	パンを製造することで、基礎ならびに応用技術・工程を理解する。各国の特徴あるパンについての製パン技術を習得する。
バリスタ実習	カフェの実務 (コーヒーの技術) を経験し、一定レベルの製品作成の技術を習得する。
食と色彩	色彩の基本理論を身につけ、色による食欲の影響や食空間を効果的に演出する方法を習得する。
製菓・製パン教養	パティシエ・ブーランジェとして身につけておく事が望ましいマナー・教養を身につける。
接客マナー	専門職 (パティシエ・ブーランジェ) にふさわしい言葉づかいや接客技術について学ぶ。
コンピュータ実習	Word・Excelの基本操作を習得し、日常に利用できるようにする。また、パソコンを使った計算やチラシ作成の技術を身につける。
フードマネジメント	時代のニーズに沿ったショップの運営・店作りの基本を学ぶ。

介護福祉学科 [2年制/男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

介護福祉学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 介護を学ぶための基礎的な学力を身につけている人
- 3 協調性、主体性、素直に聞く態度、目標を達成しようとする態度を身につけている人
- 4 人の役に立ちたいという強い意欲を持つ人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

介護福祉学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 専門的な知識と技術の習得を図るため実践のカリキュラムを構成する
- 2 「学習の習慣」を身につけ、「自己効力感」を育て、「成長を実感」できる体験を提供する
- 3 介護福祉士としての使命感や責任、ホスピタリティマインドについて学べる場を提供する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

介護福祉学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる介護技術を身につけている
- 2 介護が必要な人の正しい理解と介護理論、福祉制度の専門的知識に裏付けられた支援を選択する判断力を身につけている
- 3 介護が必要な人に寄り添う温かい心、感謝の気持ちと笑顔、豊かな対話により周囲と協力する態度を身につけている
- 4 根拠に基づいた、実践的な技能による、安全で安心な介護を身につけている

目指す資格

- 介護福祉士 [国家資格]
- 認知症ライフパートナー検定

	1年次		2年次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	尊厳の重要性及び、障害や発達について理解できるようになる。また基本的な介護技術並びに、人体の仕組みについて学び、利用者とのコミュニケーションができ、観察ができるようになる。	利用者の全体像を理解し、学んだ介護技術を活用できるようになる。また、アセスメント、高齢者の特徴、ターミナルケア、喀痰吸引の基礎を理解できる。	社会制度の仕組みと、介護保険制度の概要を理解する。また実習において介護過程の展開ができ、利用者の方に喜ばれるレクリエーションを学ぶ。国家試験に向け知識を習得する。	基礎的な被服、調理の技術を習得し、安全な住生活について学習する。疾病や傷害に合わせた支援ができるように医療的ケア基礎研修を終え、点字や手話について学ぶ。また、国家試験合格を目指す。
カリキュラム	講義 人間と尊厳と自立	講義 介護福祉総論	講義 生活と福祉	講義 社会保障制度
	講義 コミュニケーション技術Ⅰ	講義 人間関係とコミュニケーション	講義 人間関係とコミュニケーション	講義 コミュニケーション技術Ⅱ
	講義 文章理解	演習 生活支援技術Ⅳ 介護予防とレクリエーションⅠ	演習 生活支援技術Ⅳ 介護予防とレクリエーションⅡ	演習 コンピュータリテラシー
	講義 介護の基本Ⅰ・Ⅱ	講義 介護の基本Ⅰ・Ⅱ	講義 介護の基本Ⅲ	演習 生活支援技術Ⅱ (居住環境の整備)
	演習 生活支援技術Ⅰ		演習 生活支援技術Ⅱ	実習 生活支援技術Ⅲ (被服)
				実習 生活支援技術Ⅲ (調理)
				実習 生活支援技術Ⅲ (住居)
	講義 介護過程Ⅰ	講義 介護過程Ⅱ	講義 介護過程Ⅱ・Ⅲ	演習 生活支援技術Ⅲ (家事の介護)
	演習 介護総合演習基礎	演習 介護総合演習Ⅰ	演習 介護総合演習Ⅲ	実習 介護実習Ⅰ・Ⅱ
	実習 介護実習Ⅰ・Ⅱ	実習 介護実習Ⅱ	実習 介護実習Ⅱ	
	講義 発達と老化の理解Ⅰ	講義 発達と老化の理解Ⅱ		
	講義 認知症の理解Ⅰ	講義 認知症の理解Ⅱ		
	講義 障害の理解Ⅰ	講義 障害の理解Ⅱ		
講義 こころとからだのしくみⅠこころ		講義 こころとからだのしくみⅢ		
講義 こころとからだのしくみⅠからだ	講義 こころとからだのしくみⅡ	講義 医療的ケア	演習 医療的ケア演習	
スケジュール	4月 ●入学前学習 ●入学式 ●交流会 ●オリエンテーション	10月	4月 ●交流会	10月 ●介護実習Ⅰ (在宅系サービス実習)
	5月	11月	5月 ●就職研修	11月
	6月 ●介護実習Ⅰ (通所系サービス実習)	12月 ●介護実習Ⅱ (施設実習) ●冬休み	6月 ●介護実習Ⅱ (施設実習)	12月 ●冬休み
	7月 ●穴吹祭	1月	7月 ●穴吹祭	1月 ●介護福祉士国家試験
	8月 ●夏休み	2月	8月 ●夏休み	2月 ●卒業制作展
	9月 ●介護実習Ⅱ (施設実習) ●スポーツ大会	3月 ●春休み	9月 ●スポーツ大会	3月 ●卒業式

主な科目内容	
人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念を学ぶ。
人間関係とコミュニケーション	人間関係の発展や後退とコミュニケーションのあり方について学び、円滑なコミュニケーション方法や援助者としてのコミュニケーションの基礎について学ぶ。
生活と福祉	家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえる。
社会保障制度	社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を学び、介護保険制度の概要と、サービス利用までの流れを学習する。
文章理解	国家試験に対応できる文章力を養う。
コンピュータリテラシー	Word、Excel、PowerPointと、インターネットの安全な利用について学習する。
介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護福祉士について、その制度、業務範囲、職業倫理、リスクマネジメントについて学ぶ。
コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ	基本的なコミュニケーション技術を学び、家族、利用者の状態に対応したコミュニケーション技術を習得する。
生活支援技術Ⅰ・Ⅱ	基本的な介護技術を学び、自立支援について学習する。また利用者の状態に合わせた介護技術、福祉用具について学ぶ。
生活支援技術Ⅱ (居住環境の整備)	居住環境の整備、福祉用具の活用、利用者の環境整備の方法を学ぶ。
生活支援技術Ⅲ (家事の介護)	利用者の家事援助全般について学習する。
生活支援技術Ⅲ (被服)	基本的な裁縫技術を修得する。
生活支援技術Ⅲ (調理)	基本的な調理技術、献立の立て方などを学ぶ。
生活支援技術Ⅲ (住居)	安全な住宅をテーマに住居模型を作成し、利用者にとって快適な住居環境を学習する。
生活支援技術Ⅳ 介護予防とレクリエーションⅠ・Ⅱ	レクリエーションプログラムの立案について学習し、自らレク支援が実践できるスキルを養う。
介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護過程の目的、意義、展開、アセスメント、介護計画の立案、実施、評価方法について学習し、個性のある支援ができるスキルを養う。
介護総合演習基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護実習に向けた注意点、記録の書き方、実習の取り組み方などを学習する。
介護実習Ⅰ・Ⅱ	通所系、在宅系、施設実習において、介護福祉士としてのスキルを学習する。
発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	人間の成長と発達の基礎的理解を図り、老年の発達と成熟について学習し、高齢者の特徴について学ぶ。
認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	認知症を取り巻く状況、医学的側面、認知症の基礎について学習し、具体的支援方法を習得する。
障害の理解Ⅰ・Ⅱ	障害の基礎的理解、医学的側面、具体的支援方法、家族への支援について学習する。
障害の理解Ⅱ (視覚障害者の理解)	視覚障害者の介助方法、点字について学習する。
障害の理解Ⅱ (聴覚障害者の理解)	聴覚障害者とのコミュニケーション方法、手話について学習する。
こころとからだのしくみⅠこころ・Ⅰからだ・Ⅱ・Ⅲ	こころとからだのしくみについて学習し、疾病についての知識を習得する。また様々な場面における人体の変化を学ぶ。
医療的ケア	医療職との連携のもとで、安全・適切に医療的ケアを実施できるよう、知識、技術を習得する。
医療的ケア演習	喀痰吸引、経管栄養の演習を行う。

こども保育学科 [2年制/男女]

AP

入学者の受け入れ方針
アドミッションポリシー

こども保育学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 保育を学ぶための基礎的な学力を身につけている人
- 3 協調性、主体性、素直に聞く態度、目標を達成しようとする態度を身につけている人
- 4 子どもに対し愛情深く、高い志を持って社会に貢献する意欲を持つ人

CP

教育課程編成・実施の方針
カリキュラムポリシー

こども保育学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 専門的な知識と技術の習得を図るため実践的カリキュラムを構成する
- 2 「学習の習慣」を身につけ、「自己効力感」を育て、「成長を実感」できる体験を提供する
- 3 保育者としての使命感や責任、愛情について学べる場を提供する

DP

目指す人材像
ディプロマポリシー

こども保育学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる保育技術を身につけている
- 2 子どもの命と成長を守る高度な専門性と広い基礎知識、地域を支え、家族を支える幅広い視野を身につけている
- 3 子どもに寄り添い家族に温かく接する心、感謝の気持ちと笑顔、豊かな対話により周囲と協力する態度を身につけている
- 4 専門知識と観察力を背景とした多彩な保育を身につけている

目指す資格

- 保育士 [国家資格]
- 幼稚園教諭2種免許 [国家資格]
- 社会福祉主事 (任用資格)

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	保育・教育の本質を理解する。保育の内容について基礎的な技術を身につける。	幼児理解を深め、保育者としての力を身につける。実習を通して観察する力を育む。	特別な配慮が必要な幼児への理解と支援方法を学ぶ。子育て支援からみる保護者との関わり方を理解する。教育・保育実習を通して、現場で通用する保育技術を学ぶ。	心理学を通して、発達過程・心の理解・心の疾患について知識を深める。現場で活躍できる保育者として、保育観を確立し、今後の課題を見つける。
一般教養科目	講義 日本国憲法 実技 生涯スポーツ 講義 健康科学 演習 英会話Ⅰ 講義 情報処理入門Ⅰ	講義 日本国憲法 実技 生涯スポーツ 講義 社会人基礎講座Ⅰ	講義 社会人基礎講座Ⅱ	講義 社会人基礎講座Ⅱ 講義 情報処理入門Ⅱ
保育の本質・目的に関する科目	講義 社会福祉 講義 社会的養護Ⅰ	講義 教育原理 講義 教育者論	講義 保育原理 講義 子ども家庭福祉 講義 子ども家庭支援論	
保育の対象の科目	講義 幼児の心理学 講義 こども学概論	演習 子どもの理解と援助 講義 こども学概論	講義 保育の心理学 講義 精神保健 講義 子どもの保健	講義 保育の心理学 講義 子ども家庭支援の心理学 講義 青年心理学 講義 子どもの保健 講義 子どもと文学 演習 子どもの食と栄養
カリキュラム	講義 保育課程総論 演習 保育内容総論 演習 健康(指導法) 演習 造形表現(指導法) 演習 音楽表現(指導法) 演習 言葉(指導法) 講義 幼児と人間関係 演習 人間関係(指導法) 講義 幼児と環境 演習 環境(指導法) 演習 劇あそび(指導法)	講義 保育課程総論 演習 子どもの健康と安全 講義 乳児保育Ⅰ 演習 造形表現(指導法) 演習 幼児と音楽表現 演習 幼児と言葉	演習 社会的養護Ⅱ 演習 子育て支援 演習 幼児への特別な支援 演習 幼児保育Ⅱ 演習 幼児と健康 演習 音楽表現技術	演習 障害児保育 演習 健康Ⅱ
その他の科目	講義 教育方法論 演習 保育演習Ⅰ	演習 保育演習Ⅰ	講義 教育相談 演習 保育演習Ⅱ	演習 卒業研究
保育・教育実習	演習 保育実習事前事後指導Ⅰ	実習 保育実習Ⅰ(保育所) 演習 保育事前事後指導Ⅰ 実習 保育実習Ⅰ(施設) 演習 教育実習事前事後指導Ⅰ	演習 保育実習事前事後指導Ⅱ 演習 保育実習事前事後指導Ⅲ 演習 教育実習事前事後指導Ⅱ 実習 教育実習Ⅰ・Ⅱ	選択実習 保育実習Ⅱ(保育所) (選択) 保育実習Ⅲ(施設) (選択) 演習 保育・教職実践演習
スケジュール	(4月) ●入学前学習 ●入学式 ●オリエンテーション (5月) (6月) (7月) ●穴吹祭 (8月) ●夏休み (9月) ●スポーツ大会	(10月) (11月) ●保育実習Ⅰ(保育所) (12月) ●冬休み (1月) ●保育実習Ⅰ(施設) (2月) ●卒業制作発表会見学 (3月) ●春休み	(4月) (5月) ●教育実習(1回目) ●就職研修 (6月) (7月) ●教育実習(2回目) ●穴吹祭 (8月) ●夏休み (9月) ●スポーツ大会	(10月) ●保育実習ⅡまたはⅢ (11月) ●保育士資格申請 (12月) ●冬休み (1月) ●幼稚園教諭資格申請 (2月) ●卒業制作展 ●卒業制作発表会 (3月) ●卒業式

主な科目内容	
情報処理入門Ⅰ・Ⅱ	パソコンの仕組みや歴史など基本的なことを学習する。また、ワープロソフトのWordや計算機のExcelなどを学習することにより、就職現場において効率的な業務を行なえるようにする。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ	働くとはどのようなことなのかをベースにライフサイクルと仕事について考えていく。また、社会人としての一般常識を中心に授業を行う。
子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷を理解した上で、子どもの人権擁護・子ども家庭福祉の制度と実施体験を学ぶ。
保育者論	保育者の役割・職務内容と倫理について理解する。保育者の連携・協働について学び、保育者の資質向上とキャリア形成について学ぶ。
保育の心理学	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について学び、心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。
子どもの食と栄養	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得し、子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。
幼児と音楽表現	和音感、リズム感などピアノの力をつける。その上で、子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現を結びつける遊びの展開などにも視点を向けていく。
幼児と健康	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と、保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。
幼児と人間関係	乳幼児期の発達と領域「人間関係」を理解する。子どもと保育者の関わり、遊びの中の人との関わり、生活を通して育つ人との関わりを学ぶ。
幼児と環境	乳幼児期の発達と領域「環境」を理解する。子どもを取り巻く環境の変化を理解し、子どもの発達と環境の関係性について学ぶ。
幼児と言葉	子どもが生活の中で、経験したことや考えたことなど、自らが自分なりのことばで表現し、相手の話すことばを聞こうとする意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことばで表現する力を養う。また、絵本や紙芝居の読み聞かせなど実践的な学習をする。
幼児への特別な支援	障がい児、その他の特別な配慮を要する子どもについて、保育における計画の作成や援助の具体的な方法と、家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。
青年心理学	青年期における、発達の特徴、身体発達、知的発達、自己形成、人間関係の発達、社会的発達、青年と文化、精神病理現象と、青年期への心理的援助等について学ぶ。
保育演習Ⅰ・Ⅱ	保育現場で生かせる保育者としての専門的な技術(手遊び・歌・絵本・おりがみ・あやとり等)を習得する。また、保育園や幼稚園で実践的な保育を経験し、保育者としての技術と子どもへの言葉かけや立ち居振る舞いなどを学ぶ。
保育・教職実践演習	学習を通して身につけた「保育者に求められる知識・技術・資質等」を学生自身で振り返り確認する。また、実習等を通して保育の課題等を分析し、保育士、保育現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を習得する。
保育実習Ⅰ(保育所)	保育所の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。
保育実習Ⅰ(施設)	児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子ども・利用児(者)との関わりを通して子ども・利用児(者)への理解を深める。
保育実習Ⅱ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)	Ⅱでは、保育実習Ⅰでの経験と今後の学習をふまえて、自己課題をもち保育所の保育を実際に経験する。この実践を通して、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術を修得し、さらに自己課題を明確にしていく。 Ⅲでは、保育所以外の児童福祉施設などの役割や機能について実践を通して理解を深める。また、これらの実践の中で家庭と地域の役割などに気づき、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。
教育実習Ⅰ・Ⅱ	幼稚園における教育実践について専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的にまた総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。
卒業研究	今まで経験した実習先で感じ、子どもに学んで欲しいこと、興味を持ってほしい内容を考え、各自オリジナルのエプロンシアターを作成し、発表する。
英会話Ⅰ	日常的で平易な会話文を学びながら英語表現、イディオムや文法を習得する。
保育原理	保育の意義及び目的を理解し、保育者として子どもや保護者に関わるために必要となる基本的な視点や取り組み姿勢を深める。
子どもの理解と援助	保育実践において、実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解し、子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を学ぶ。
子ども家庭支援の心理学	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解し、家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
子どもの保健	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解した上で、子どもの身体的な発育・発達と保健について学ぶ。
乳児保育Ⅰ・Ⅱ	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
子育て支援	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。
教育相談	子ども達の周りにいる大人達の役割や対応はどうあるべきかを学んでいく。また、カウンセリングの基礎知識を学び、保育者がカウンセリング・マインドをもち、子ども達や親に対する基本的援助の方法を学ぶ。
社会的養護Ⅰ・Ⅱ	現代社会における社会的養護の意義・歴史の変遷の把握を基盤に、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を学ぶ。
保育課程総論	保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を学ぶ。

2021年度 卒業生就職先一覧 (順不同)

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ こども保育学科	
社会福祉法人みよし福祉会 太田西保育園	香川県
スマイル・ステーション株式会社(スマはび保育園)	香川県
学校法人新田学園 幼保連携型認定こども園 新田幼稚園	香川県
株式会社チャイルドケア二四(24)	香川県
株式会社ニチイ学館	香川県
株式会社讃光	香川県
高松ライフシステム株式会社(春番街ドーム保育園)	香川県
社会福祉法人鶴足津福祉会 幼保連携型認定こども園 みらい学園	香川県
社会福祉法人嶺丘福祉会 いとし子保育園	沖縄県
社会福祉法人光志福祉会 児童デイサービス ネムの木園	香川県
社会福祉法人香川こだま学園	香川県
社会福祉法人高室福祉会 高室保育園	香川県
社会福祉法人紹隆会 高松第二保育園	香川県
社会福祉法人豊原福祉会 豊原保育所	香川県
社会福祉法人柞田福祉会 柞田こども園	香川県
双葉教育株式会社	東京都
徳島県職員	徳島県
平成レッグス株式会社	香川県

穴吹パティシエ福祉カレッジ 保育・食育学科 <small>(現こども保育学科)</small>	
らく楽福祉会グループ 学校法人らく楽学園 らく楽寺井幼稚園	香川県
学校法人高松聖母被昇天学院 マリア幼稚園	香川県
学校法人新田学園 幼保連携型認定こども園 新田幼稚園	香川県
株式会社アイグラン	広島県
株式会社ニチイ学館ニチイキッズ(飯山保育園)	香川県
株式会社三葉(COMPASS発達支援センター三豊)	香川県
社会福祉法人鶴足津福祉会 幼保連携型認定こども園 みらい学園	香川県
社会福祉法人御荘福祉施設協会 はまゆう乳幼児保育所	愛媛県
社会福祉法人柞田福祉会 柞田こども園	香川県
幼保連携型認定こども園 和光こども園	香川県

2022年度 卒業生就職先一覧 (順不同)

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ こども保育学科	
あさがお保育園	香川県
株式会社どりいみんぐ	香川県
さくら木太保育園	香川県
綾川町職員	香川県
学校法人三木学園 あおぼ幼稚園	香川県
株式会社チャイルドケア24	香川県
高松聖母幼稚園	香川県
社会福祉法人丸亀市社会福祉協議会 しおや保育所	香川県
社会福祉法人喜勝会	香川県
社会福祉法人高松南福祉会 高松西保育園	香川県
社会福祉法人清見福祉協会 せいけんじこどもえん	香川県
特定非営利活動法人アイルコートコンサフォス	香川県
認定こども園屋島幼稚園	香川県
有限会社サンスブラッシュ企画(いるか保育園)	兵庫県

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ パティシエ・ベーカリー学科	
Patisserie YUTAKA	香川県
パティスリー リュ・ドゥ・シューブリーズ	香川県
ポトマックグループ	兵庫県
株式会社エリート洋菓子店	香川県
株式会社エリカ(アマチャーベーカリー)	香川県
株式会社ブラン	香川県
株式会社プロスパー・サンダ	香川県
株式会社ルーヴ	香川県
川東菓子店	香川県
堤製パン株式会社	香川県
有限会社カレンズ	香川県
有限会社サンファソン	香川県
有限会社井上誠耕園	香川県
有限会社菓匠芝山	香川県
有限会社美栄堂	香川県

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科	
医療法人介護老人保健施設 明けの星	香川県
あなぶきメディカルケア株式会社	香川県
医療法人健愛会	香川県
株式会社ケア・ステーション	香川県
株式会社四国中央興産	愛媛県
小豆島町職員	香川県
有限会社マイルドケア	香川県
医療法人社団みどり会 加藤病院	香川県
株式会社アイ・エム・シー(ライフステージ)	香川県
社会福祉法人サマリヤ	香川県
社会福祉法人花園福祉会 特別養護老人ホーム はなその園	香川県
社会福祉法人瑞祥会	香川県
社会福祉法人正友会	香川県
社会福祉法人博安会 特別養護老人ホームたるみ荘	香川県
社会福祉法人福寿会	香川県
社会福祉法人牧羊会	香川県

2023年度 卒業生就職先一覧 (順不同)

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ こども保育学科	
株式会社アイグラン コベルプラス byAIGRAN 高松サンフラワー通り教室	香川県
一般社団法人たんぼ福祉会 認定こども園たんぼ保育園	香川県
学校法人 高松聖ヤコブ幼稚園	香川県
社会福祉法人 鶴足津福祉会	香川県
特定非営利活動法人 チャイルドハウスみとよ 小規模保育園ひまわり	香川県
社会福祉法人四恩の里 児童養護施設 亀山学園	香川県
学校法人らく楽学園 らく楽児童クラブ	香川県
三好市職員	徳島県
株式会社ニチイ学館	香川県
学校法人清水学園 あいナーサリースクール	大阪府
社会福祉法人恵福祉会 大宮保育園	香川県
社会福祉法人 敬愛保育園	香川県
愛染興業株式会社 あいあい保育園	香川県
社会福祉法人つくし福祉会 西春日保育所	香川県
社会福祉法人未知の会	香川県
学校法人古高松学園 認定こども園つくし幼稚園	香川県
綾川町職員	香川県
社会福祉法人守里会 あさがお保育園	香川県

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ パティシエ・ベーカリー学科	
株式会社アークバリア	香川県
株式会社ちきりや	香川県
洋菓子の店 フランセ	香川県
農事組合法人 東山産業	香川県
株式会社BOOZYS	兵庫県
ハートスフードクリエイツ株式会社	兵庫県
有限会社サンファソン	香川県
Boulangerie KURIMUGI	香川県
ハイパーリゾート株式会社 ヴィラ塩江	香川県
Bakery Café ル・レーヴ株式会社zero	香川県
株式会社ルーヴ	香川県

就職先	所在地
-----	-----

穴吹パティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科	
社会福祉法人 三野福祉会	香川県
三豊総合病院	香川県
社会福祉法人 敬愛園	福岡県
社会福祉法人観音寺福祉会 介護老人保健施設はがみ苑	香川県
社会福祉法人仁尾福祉会 特別養護老人ホーム にお荘	香川県
さぬき市職員	香川県
株式会社よんでんライフサポート	香川県
一般社団法人三豊・観音寺市医師会 三豊市立西香川病院	香川県
社会福祉法人長野県知的障害者育成会 ドリームワークス	長野県
社会福祉法人 サマリヤ	香川県
社会福祉法人さぬき 特別養護老人ホームさぬき	香川県
社会福祉法人 松寿会	香川県
社会福祉法人 牧羊会	香川県
社会福祉法人 はつき会	香川県
あなぶきメディカルケア株式会社	香川県
社会福祉法人 香東園	香川県
有限会社エイトヒルズ・コーポレーション デイサービスタ風	香川県
i-Linkホールディングス株式会社	香川県
社会福祉法人 花園福祉会 特別養護老人ホームはなその園	香川県
社会福祉法人 吉祥	香川県
社会福祉法人 三つ葉会	神奈川県
特定非営利活動法人 三都の浜	香川県
社会福祉法人 瑞祥会	香川県